



依頼内容

A～Eの5つの倉庫内の物資をZの倉庫に運び込むこと。納期は3日目の27時。
報酬は一人5万セレン。ただし、非合法なので、失敗した場合などのフォローは入らない。犯罪者ともなり得る。
物資の内容はずさんな管理体制により放置された武器類。(と言われている)
基本的に倉庫内の木箱を全て持ち込めばOK。
物資の位置と納品用倉庫が使える事、あと鍵が渡された以外は、一切の依頼背景も情報も知らされていない

全体的な情報

倉庫と倉庫の間の時間的な距離は約1時間程度。
処理的な都合により一つの倉庫ごとに順に処理をしていく。
一般人の服装はてゆがーと似たようなもの。男はチュニックとズボン、女はチュニックワンピース。冬なのでコートを羽織っている。
荷馬車を夜間に動かすためには暗視系スキルなどが必要となる。(猫やフクロウなどのファミリアを連れて魔術師もOK)
大通りには街灯があるため暗視系スキルがなくてもペナ-2で御者スキルが使える。
夜目持ちが御者に指示して走行することも可能。(ペナ未確認)
鍵開けには所要時間30分。一度開けた鍵は30分使えば失敗せずに開けられる。

各倉庫の情報

A	日中	荷物を積み込むための貸倉庫。扉が閉められていて物が出し入れされている様子はない。 忘れられているという印象。船乗りたちが多数歩き回っている、道は十分に広く馬車を走らせるのは可能そう。見張りのような姿はない。 扉は大きく門がかかっていてさらに大きな錠がかかっている。扉が大きいため扉を開けると大きな音がしそう。倉庫に窓はない。 聞こえてきた会話『荷物を降ろせ』『〇〇へ運べ』『毎日毎日武器ばかり運ばせやがって、本当につかうのかよ?』
	夜間	商人の噂によると、この倉庫街は空き倉庫が多い。 数日以内に事件が起こると察した商人により三日目に重要な商品が運び込まれるようだ。 夜は灯台の灯り以外に照らすものがないので暗い。 深夜2時を過ぎると、漁船が出港するので賑やかになるようだ。 周囲からは特に何も聞こえない。

B	日中	<p>Fの倉庫から城壁沿いの道を通って行くことも可能。 周囲に兵士の姿もない。神殿のアコライトが時々通行する。扉には重厚な鍵がかかっている。(目標値は17だった。サラが開けるのに成功) 締めりっぱなしの公民館のような雰囲気。 周囲は倉庫以外にほとんど何もないので人通りが少ない。 鍵開けを行っている間にアリーヤがアコライトと遭遇。少し顔(変装済)を見られて怖がられたがやり過ぎた。 扉は開き戸。 物資を確認。木箱で12個。一つの重さは50kg程度。押しこめば一つの馬車で輸送可能。 積み込みから撤収まで5~10分ほどで済ませることができそう。 荷物の積み込みや整理整頓はダイス判定不要。 夜も監視可能なので、昼間もガガーランの屋敷の監視下にあると言えるだろう。</p>
	夜間	<p>ガガーランの屋敷のせいで夜もかなり明るくなっていて、ガガーランの屋敷の窓からの監視下にあると言える。 周囲から特に音は聞こえない。</p>
C	日中	<p>周辺は人でごった返している。 自分たちが使う倉庫以外にもいくつか倉庫が存在する。 聞き耳を立てたところ、全て商談だった。</p>
	夜間	<p>通行量はほとんどない。城壁門との距離は50mほどで、灯りをつけると城壁門の見張りの注目を浴びる。 倉庫は大通りに面していて、門と鍵がかかっている。門は外すとかなり音が響く。暗闇での鍵開けには失敗(サラ)</p>
D	日中	<p>怖い人のねぐらになっている一角。 聞き耳をしても会話は聞こえてこない。 娼館の用心棒、黒服、煙草をふかしている娼婦、盗賊風の男、ガラの悪い商人、物乞いもいる。 東城門までは約100m離れている。</p>
	夜間	<p>ここは夜でも明るい。ガラの悪い連中で人通りも多い。 路地裏に入ったら命はなさそう。 周囲は不気味な静けさと、時折危ない人の足音が聞こえる。</p>

E	日中	<p>倉庫というよりは廃屋のような感じ。周囲に人目はない。</p> <p>廃屋の中には目新しい木箱が積み上げられていた。在庫管理の不備で置かれているとは思えない。</p> <p>意図的に運び込まれたように見える。</p> <p>木箱は12個。Bの倉庫と同じような感じだった。(完全に同じということではない。規格品ではない木箱だから)</p> <p>グロフスの事前情報と全く食い違っていることが明らかになった。</p> <p>一週間以内についた足跡を発見した。(体育館が確保された後についたと思われる)</p>
	夜間	
体育館	日中	<p>王城の城門から60mほどの距離が離れている。</p> <p>多目的に使用でき、集会などにも使われる体育館のような感じ。入口は公園側と城門と反対側。入口は大通りには面していない。</p> <p>1週間前から3日後まで自分たちが借りていることになっている。鍵はPTが持っている。</p> <p>周囲は商人、騎士、神官、一般市民、傭兵、兵士など人でごった返し、ゆっくりとしか進めない。荷馬車の往来もある。</p> <p>通行人から拾った会話内容は世間話くらい。</p>
	夜間	<p>密談が聞こえた。内容は別項目で。</p> <p>地上からは中を見ることできない。</p> <p>扉を開けると音が城門の方まで聞こえそう。</p> <p>天窓があるが中を見るためには垂直な壁を登攀する必要がある。(フック付ロープや鉤爪が必要そう)</p> <p>魔法で飛んで天窓から中を見ると何も入っていなかった。</p>

想定できる問題

	鍵開け(A～E倉庫とも鍵開けの目標値は17と思われる)	搬入と搬出
A	まだ鍵開けには挑戦していないため、鍵開けで失敗する可能性がある。三日目に商人がこの倉庫の近くで荷物の搬入をする動きがあるので下手に怪しい動きをすると不審と思われる。(多分昼間に行われるが確証はない)	荷物の量が確認できたわけではないので所要時間が見積れていない。商人たちが荷物の搬入を行うので周りの目があるのと、馬車が混みあって渋滞を起こす恐れもある。
B	1日目に鍵開け成功しているため、30分あれば鍵を開けることは可能。ただし、ガガーランの屋敷から丸見えのため、何らかの作業は必要と思われる。	荷物は木箱12個で確認済。木箱一つの重さは約50kgほど。冒険者なら持てないことはない。搬出の時間は5分～10分ほどの想定。しかし、ガガーランの屋敷からの監視の目をごまかす必要がある。
C	1日目に鍵開けに失敗しているため、サラ以外のメンバーが鍵開けを試みるか、魔法を使うしかないと思われる。昼間は交易所の商人たちの目があり、夜間は北城門の兵士たちから見られるため、何らかの作業が必要	昼間は交易所の商人、夜間は城門の兵士の目がある。また、中の物資についての確認ができていないので搬出の所要時間が見積れない。
D	鍵開けはまだ試みていない。周囲は治安が悪く、怖いお兄さんたちの目がある。怪しい動きをすればお兄さんたちを刺激する恐れがある。夜間は明るく、危ない人たちの行き来で人通りも多い。	中身の荷物の確認ができていないため、搬出の所要時間が見積れない。周囲は治安が悪く、怖いお兄さんたちの目がある。怪しい動きをすればお兄さんたちを刺激する恐れがある。夜間は明るく、危ない人たちの行き来で人通りも多い。
E	鍵はかかっていない。2日目に確認したが周囲の目はなかった。夜間は城壁門が閉鎖されるため行くことができないので、昼間に作業する必要がある。周囲は草原なので、遠くからでも見えてしまい、入ろうと思えば誰でも入れるのが不安材料。	荷物は木箱12個で確認済。木箱一つの重さは約50kgほど。冒険者なら持てないことはない。搬出の時間は5分～10分ほどの想定。夜間は城壁門が閉鎖されるので昼間に作業する必要がある。東の城門を一度だけ通行できる手形(赤い木札)があるので、それを使って街に入る必要がある。体育館への搬入を夜にするなら、荷物を夜までどこかに置いておく必要がある。遠くからでも見られ、誰でも入れるのが不安材料。
体育館	鍵は自分たちが持っているの、鍵開けについては問題ない。ただし、商人の間で噂になっているうえ、昼間は王城への出入りが多いため注目を集めると危険。夜間も王城から見えてしまうのが不安材料。	荷物の搬入はおそらく各倉庫からの荷物の搬出の時間の合計以上の時間がかかる。昼間は王城の前の渋滞のせいで所要時間が長引くことが予想されるうえに目立ってしまう。夜間は王城からの監視に注意する必要がある。

その他スポット情報

バザール(6)	衣料品を調達した場所。兵士や神官や騎士が多い。どれも強そう。酒場もこの地区にある。花街はあるようだが、この地区かどうかはまだ不明。 酒場の噂は別項目にまとめる。 入った店では酒場での食費は1店舗あたり5セレンほど。昼と夜で営業する店ががらりと変わるため、全く違う様相を見せる。日の出で始まり日の入りで終わる。灯りの燃料節約の意味もある。このあたりではPTを見張る存在には気づかなかった。またはいなかった。
倉庫街からバザール南の交	公園横の市街地。馬車が3台並んで通れそう。船乗りくらいしか見かけない。
バザール(7)	市民や旅人、騎士などが詰めかけている。停泊中の巨大船の錬金術師が売りつけたポーションを買い付けに人が殺到している。『ヒールポーションは最低3本は必要』ポーションは最近品薄だったらしい。午後6時には店じまいしている。日の出とともに始まり日の入りと共に終わる。
公園と神殿(3)の間の道	樹木が植えられているので真昼でなければ丸見えとはならない。しかし灯りをつけて走ると遠くからでも見えてしまう。
公園の管理所(2)	喫茶店なども入っている。喫茶店は夜は営業していない。
公園	木立がかなりあり、馬車で突っ切ろうとすると御者スキル判定の目標値15くらいを要求されそう。(日中の場合) 公園内を走る場合はランタンくらいなら灯しても問題なさそう。 ★は日時計のモニュメント。
王城	城門の衛兵の数は4人ほど。 城門の出入りはひっきりなし。(午後。夕方よりは前) 荷馬車は中身をチェックされるが人は要件をチェックされない。 役所を兼ねていて、手続きや許可申請などは王城の中ですようになっている。 夜は城門が閉鎖されている。城壁の上には夜でも見張りが配置されている。 城壁の高さは15m程度。城壁の上には見張りがいて、他の建物は城壁より低いいため城壁から街中を見回すことが可能。よって、荷馬車の動きは城壁からは丸見えになる。→灯りをつけるとまずばれる
高級住宅地	公園の向かい側にある。
神殿関連施設/王城外設	城壁沿いは意外に人がいない。
お金持ちのお屋敷	Bの倉庫の対面にある。垣根で囲まれている。裏口のような。人通りも少ない。 体育館で密談をしていた人物が入って行った。 夜に2時間ほど張り込みをしたが出入りはなかった。 ガガーラン卿のお屋敷だった。(盗賊ギルドで裏を取った) 夜は人通りはないが灯りでかなり明るくなっていて、どこかから視線を感じる。 屋敷の窓からの監視ができるだろう。 夜間に柄の悪い傭兵風の男たちが出入りしていた。 侵入するにも塀が高く街路樹を使わないと登れなさそう。 塀をよじ登って超えると完全包囲されたが、飛びかかってはこなかった。
噴水広場(9)	露店商が露店を広げて商売する。王宮に届け出をすれば誰でも店を出せる。中央には噴水。

神殿(3)	正義の神ヴァラエルと法の神ジャンニエルという双子の神をまつる神殿。 この双子の神が光の陣営の中心の秩序神。この国では知らない人はいないメジャーな存在。 教義は『善を重んじる事、悪を赦さない事、法を守ること、不義を赦さない事。不条理を憎み秩序を愛する。正しい世界の中で平和に幸せに生きよ』 朝6時から開いている。夕方6時には片づけをしていた。まだアコライト少女しか登場していない。
交易所(8)	貿易品取引品の取引を行っている。21時の段階では灯が落ちていた。 交易所での取引では書類を提出する必要はないが、所属を名乗る必要がある。
商人ギルド商館群	21時の段階では灯が落ちていた。
北城壁門	夜は見張りがいる。夜間は閉鎖されて通行ができないようになっている。 昼間は開門されていて馬車が大量に出入りしている。 配置されている兵士は出入りする馬車の所属と目的と積み荷をチェックしている。 一つの馬車に、質問役と積荷確認役の兵士が一人ずつつく。荷物の確認は1分くらい使っている。 外から見たが特に変わったところはなかった。 聞き取ったやり取り: 兵士『とまれ。所属を言え』 商人『アルギール商会のものです。行商にきました』 兵士『積み荷は何だ?』 商人『反物、あと衣類です』 兵士『少し調べるぞ…(ごそごそ)…よし、通れ、次!』
交易用テント広場	運動会でよく使うテントが立っていて、そこで交易をするようになっている。 遮蔽物にはなりそうにない。
貸しスペース(倉庫)(5)	娼婦目当ての男がうろうろしている。
立ちんぼ広場	噂話が聞こえる。 『最近ゴブリンがこの辺にでるってさ』『こわーい』『うそー、やだー』 ほろ酔い兵士と会話をした。内容は別項目。
市場	日用品が売買されている。 肉や野菜や魚などの食物、衣服、日用雑貨など。 屋号はマルカツ。マルカツの商館は奥の方にあるようだ。 夜は真っ暗。
東城壁門	柄の悪い兵士が立っていて、まっとうでない人が出入りしている。 荷馬車は出入りしているがまっとうな荷馬車ではない。 荷馬車の荷物の中身は見えないようになっている。 荷物チェックの代わりに袖の下を渡しているようだ。
兵の駐屯所と盗賊ギルド	明らかに堅気の雰囲気ではない。 不思議な建物に接近して、観察を始めたら近くで座り込んで見張りをしていた怖いお兄さんが出てきて追い返された。 明らかに怪しいと思ったら実は盗賊ギルドだった。『洗濯ものを取りに来ました』が合言葉だったようだ。 盗賊ギルドでの会話については別項目にまとめた。

城外	草原になっていて建物のようなものは見当たらない。
花街	<p>食事をする店はあるようだが、お奨めできない。 酔っ払いとスケベオヤジで混沌としていて、女だけで入店するとトラブルの一つや二つは覚悟しないとイケない。 噂話が聞こえてきた。 『最近高級娼館は一つ休みにしてるよな、なにかあったのかな？』 『そういやローラも全くみなくなったな』 『ゴブリンがまた出たってさ。ほんとうかな？』</p>
港	<p>ホオヅキを観察している褐色の男がいた。フードをかぶってマスクをしている。背が高く細身。 普通の旅商人っぽい格好をしている。軽く笑って立ち去った。 尾行の目標値が高い(17)ことから、手練れだったかもしれない。</p>
高級娼館前	<p>3軒並んでいる高級娼館のうち、左側のローラの店の前に人がいない。 娼婦の証言『ああ、ローラの店？休んでるわけじゃないんだけど、なんだか一週間前ぐらいから貸し切りにしてるお金持ちがいるらしいわよ。 ローラもかかりきりで全然出てこないわね』 ローラの商館は扉が固く閉ざされていて鍵がかかっている。 裏口に回ると扉には鍵がかかっていなかった。 入ってみると、実は罠で戦闘になった。</p>
中央広場	<p>国王の銅像や、食べ物の露店、ベンチなどがあつた。 露店は夜は営業していない。</p>
15番倉庫	<p>柄の悪い男が二人で立っている。 傭兵1『この中にいるのか？ぶっころしておけて命令だが』 傭兵2『くっそ、鍵があわねえ。女だったら犯そうぜ。男でもいいや、やりてえ』 傭兵1『…このイカレ野郎が、俺の前できたねえもん見せやがったらぶっ殺してやる』 奇襲に使うための物陰はたくさんある。</p>

酒場の噂

商人の集まる酒場	<p>この酒場は情報交換の場で、酔ってる人はあまりいない。(駆け出しか職人は酔っている) 『最近武具が品薄だから、どこかへ遠征に出かけないといけないな』 『最近品の流れが少し不透明だ』 『武具の一部を王国以外に仕入れてる連中がいるような気がする』 『最近、街中でハーフシャドウやダークエルフっぽい奴を見る機会が多くなったな。変装してるつもりなんだろうが、何を企んでるのやら』</p>
商人の集まる酒場(2日目)	<p>相変わらず商人たちが情報交換している。 『武器の注文と納品の数があってないって、王宮から言いがかりをつけられてね。帳簿と納品記録を見せたら黙ったけどな』 『やれやれ、王宮の連中もヤキが回ったのかね。在庫管理してるのは文官じゃないそうだよ』 『管理はしっかりやってるつもりなんだろうさ、横流しされてるのに気づけるだけ抜け目ないかどうかは知らんがね』 『ローラの店に入ってる金持ちってのは結局誰なんだ。それだけ金があるならお近づきになりたいもんだね』 『ギルド筋でも口止めがかかっているそうさ』 『口止めは金を積めば破れるだろう。いくらぐらいだ?』 『そうだな、うん…まあ、五千か一万か』 『やれやれ、金持ちの名前を知るのに一万か。さすがに割には会わんな』 『その内どこからか情報も出てくるだろうさ。もしばらく様子見ですな』 『しかし、ゴブリンといっても、そんなのが隠れてたらすぐにわかるだろ』 『いや、ゴブリンはゴブリンだが、様子が少しちがったみたいだぞ。乞食に金を掴ませて聞いてみたが』 『ローラの店か…?』 『あいつは一度男に入れ込むと周りが見えなくなるからな…』 『少し商品は引き上げておいた方が良いかもしれないな。俺の見立てだと多分ここ数日で何か起こるぞ』 『港当たりの倉庫街あたりがいいな』 『あのあたりの倉庫は空き倉庫が多いだろう。明日にでも一応重要な商品だけでも移動しておくか』</p>
騎士・兵士の集まる酒場	<p>酒で酔っている兵士や騎士が大勢いる。どことなく慣れない事をやらされてつかれてる感じがする。 →本来その仕事をする人はどこに行った? 『城門前の公園の体育館、十日間も貸し切りになっているが、もう一週間経つのにになにもしてないらしい。なんのために借りてるんだろうな』 『毎日毎日武器の目録ばかりだよ。あとは軍馬。俺達は文官じゃないってのに』 『そういえば東の地区でダークエルフっぽい褐色の奴を見たってきくな。何も企んでないといいんだが』 『次の遠征に来ていくのに新しい鎧を調達しないといけないから大変だよ』 ホオヅキからも鎧が流れたようだがまだ品薄らしい。</p>
船乗りの集まる酒場	<p>酔っ払いの船乗りがげらげら笑っている。 『いや、ほんとだって信じてくれよ。東の倉庫街でゴブリンをみたんだって』 『ゴブリンなんてこの町の中にいるわけないだろ。どうやって入ったってんだ。それともなにか?オーガやダークエルフでも潜り込んでるのか?』 『また酔っばらって見間違えたんだろ。ばっかだなあ、おめえ』 ゴブリンを見た船乗りから詳しい話を聞こうとして大失敗(赤降臨)したためそれ以上の情報は得られなかった。</p>

体育館の密談

謎の人影

夜の体育館前で人影が会話をしていた。
『納品は終わっているのか？』
『はい、大丈夫です』
『帳簿の調整はちゃんとできてるんだらうな？』
『問題ありません。四日後に此处へ移動して納品します』
『もう少しはやくできんのか？』
『すいません、どうも十日前からここがふさがっていて…』
『…計画がばれてるわけではなからうな？』
『問題ないと思います。盗賊ギルドの方にも口止め料は払ってますし…そもそも誰が嗅ぎつけるっていうんです。光の勢力の正義の味方の本拠地ですよ』
『…ふん、まあいい。とりあえず、在庫のチェックと、納品連絡は四日目の早朝にはしておけよ。四日目の夜には納品できるように一気に運べるようにな』
『はい…』
尾行したら神殿の西の大きなお屋敷に入って行った。2時間ほど張り込みしたが何も起こらなかった。

酔っ払い兵士との会話

酔っ払い兵士(30代くらい)

ゴブリンやダークエルフの噂について
『あー、ゴブリン、良く情報が上がってくるんだよね。娼館付近で見るというけど』
『最近は何騒だよねえ、武具もたくさん仕入れてるっていうしさあ、おにいさん慣れない帳簿整理とかやらされて大変でさ』
『ああ、肌の黒いのは最近ちらほらみるよ。ダークエルフなんじゃねえの？ってばればれな感じだけど。この繁華街でも見るよ、たまに。まあ、単純に肌が黒いだけの人間かもしれないけどさ』
武器の管理について
『基本的に管理はきっちりやるからね。武器一個でも数が合わないと残業とかになってまいるよー』
『武器の管理は国の中でも一番厳密にやらないといけないからね。万一、管理ミスでも起こしたりしたら大失態だから、皆きっちりやらされてるよ』
『手分けしてやってるからまあまあかな。兵士の半分以上がそれで駆り出されてるよ』
帳簿を見たいとお願いしたら
『王宮で厳密に管理されてるから一般の子には見せられないんだよ。ま、しっかりつけてるからね。万が一でも在庫ミスなんておこらないさ。』
役人は何をしているのか？
『役人は出兵準備の糧食とかの用意で忙しくてね。はずれの屋敷のガガーラン卿が筆頭になっていろいろやってるよ』
ガガーラン卿はどういう人？
『城に入りしてる成り上がりの商人だよ。貴族でもないのに金だけはあるから偉そうだね』
『ガガーランって名前だって、喰い詰めた貴族の爵位を金で買ったって噂だぜ』
『絶対そのうち大それたことをするに決まってるぜ。顔が悪役そのものだからな！』

盗賊ギルドでの会話

盗賊ギルド	<p>北の城壁門の兵士を買収できるか？ →東の城壁門を使うようにと言われた。 東の城壁門を通るための手形となる【赤い木札】を貰った。(赤い木札を兵士に渡せば通してもらえる)500セレン使用。</p> <p>ダークエルフについて質問をした。 →ダークエルフについては口止めされているから答えられない。 →体育館での人影の会話【盗賊ギルドの方にも口止め料は払ってますし】と繋がると思われる。</p> <p>現在体育館を借りてくるの葉誰かと質問をした。 →これも口止めされている。 →体育館を借りたのがグロフィスなら、グロフィスは既に盗賊ギルドに手を回していたことになる。 もしそうなら、今回の荷物輸送については盗賊ギルドは邪魔はしてこない可能性が高い。</p> <p>金に困っている商人がいないか聞いたら、目的を問われた。 荷物に輸送に使う名義が欲しいと素直に言った。 →商人の名義を貸してくれた。2000セレン使用 【クラッド商会のアイギナ】屋号は羽の紋章。</p>
-------	--

商人との会話(2日目夜)

商人(服屋)	<p>噂話をしていた商人の会話に割り込んだ時の会話。 『おや、昨日服を買ってくれたお客さんじゃないか。こんなところでどうしました？』 ゴブリンがいるのか？ 『完全に確認されたわけじゃないが、東街のほうでゴブリンがでるとい噂がありましてな』 『それも、ただのゴブリンではなく、理知的に統制のとれた動きをするゴブリンのように見えるという話です』 『まあ、そもそもそんな動きをするゴブリンなんて存在しませんし』 『実際に居ればなにか騒ぎを起こすにきまっていますから、ただの与太でしょうな。心配には及びませんよ』</p>
--------	--

ローラの娼館内での戦闘

戦闘	<p>裏口からローラの娼館に侵入すると、扉を施錠されて戦闘となった。 毒の煙(生命抵抗目標値15)を流してきて、灯りを消して暗闇にした状態で戦闘を仕掛けてきた。 フラッシュが効いた(達成値18)ことから、無視覚戦闘ではなく暗視能力を持っていることが判明。 しかし、フラッシュを受けても呻き声が聞こえないことから、練度は相当高いことがわかる。 金属鎧を着ていて、数が多い。(正確な数は不明)煙のせいで姿ははっきりしない。敏捷は13と14。 射程1m以上の振り武装が使えない状態で襲ってきたことから。槍か短い武器で武装している可能性が高い。 接近してみると身長160cmほどの子男で魔生物学による特定を避けるための対策がされていて種族特定ができなかった。 フラッシュで目を潰されてもタ方向感覚と失わずにタワーシールドで押す攻撃をしてくる。(筋力抵抗で目標値15) 視力回復した小男たちは飛びかかってきた。(組みつき。回避目標値14、2回目以降回避ペナ-2が累積。切り払い可能) 組みつかれると振りほどき判定を課される。(おそらく組みついた人数によって振りほどき目標値が変化する。2体で目標値18。失敗すると行動不能) 鎧騎士が混じっていて棍棒を振り下ろしてくる。(回避目標値18、ダメージ18、連撃扱いで3回) 潜入したアリーヤ、サラ、ミカゲは全滅した。</p>
----	---

ガガーラン屋敷内の会話

ガガーランと褐色男との会話	<p>ガガーラン『くそ、窓でも開けねばやってられんぞ。それは本当なのか、え？』 褐色男『本当も何も、実際に嗅ぎまわっている鼠を捕まえたのですから、そう思わなければなりませんまい』 褐色男『計画はばれておりますよガガーラン卿。それも筒抜けだ。盗賊ギルドあたりから情報が流れていないか毎日確認はとっていますかな？』 褐色男『我々ゴ布林帝国は協力はお約束しましたが、それは万全の情報耐性が取れてから、というお約束だったはず』 褐色男『これでは、クーデターとやらも拙いのではないですか。ガガーラン卿』 ガガーラン『ならば、この屋敷に集まっている分だけでも武器を持って、事を起こせばよからう』 褐色男『無理ですな。まあ、とりあえず約束していただいた分の武器は渡していただこう。できれば早急に』 褐色男『そうそう、捕まえたネズミは港付近の15番倉庫の方に移送して閉じ込めてあります。尋問するならどうぞご自由に』 褐色男『なるべくなら早めに殺すことをお勧めしますよ。盗賊ギルドに、娼館内にゴ布林が潜んでいるなどと情報を流されてはこちらはそうくずれですからな』 ガガーラン『わかっておるわ、声大きいぞ！』 褐色男『これは失礼。いつまでも夜風に当たると、いけませんな』</p>
---------------	--

以降、実行パート

ここまでのあらすじ

自称悪人のグロフィスからの依頼で**五か所の倉庫に点在している軍需物資を体育館に集めるように依頼された**ヘラ、サラ、アリーヤ、クフィル、ミカゲの一行。それぞれ変装したうえで点在する五か所の倉庫の周辺を調査し、倉庫から体育館への物資の移送にかかる問題を洗い出すために市内を探索する。探索の中で**花街の周辺に妖魔が出没するという噂、そして豪商として知られるガガーランと不自然な理由でこき使われる兵士たちの噂**を一行は耳にした。荷物の移送を第一に考えたいと思いつつも、妖魔の噂を探ろうと、**妖魔の宿舎として使われていると睨んだ娼館に潜入するアリーヤ、サラ、ミカゲの三人は待ち伏せの罠にはまって全滅し、港近くの倉庫に放り込まれた。この娼館への侵入失敗が致命的な悪手となって後々まで影響してしまうことになる。**一方ヘラとクフィルはガガーランの屋敷近くに潜み、ガガーランが妖魔を戦力に取り込んだクーデターを企てているという情報を手に入れた。アリーヤたちが放り込まれた倉庫に向かうヘラとクフィルだったが……。

倉庫街での救出劇

ヘラとクフィルは、アリーヤたちが囚われた倉庫にたどり着いたが、そこには囚われた三人を殺しに来た二人の傭兵たちと遭遇した。**雑魚のように見えた傭兵たちだったが、かなり練度の高い兵士たちで、ヘラとクフィルは苦戦の末に傭兵を倒した。兵士たちの死体をシャドウサーヴァントに収めるヘラ。**アリーヤたちは**縄抜けできないような厳重な縛り方で拘束されていたが何とか救出することができた。**しかし、ここで傭兵を殺したことが**二つ目の致命的な悪手となった。**ヘラは囚われていた三人を介抱し、他の傭兵たちの襲撃を避け、体勢を立て直すためにホオツキに逃げ帰った。

ホオツキで回復

各々はホオツキで心身を回復させ、装備を補充する。しかし、アリーヤとミカゲは変装する際にメインの装備をホオツキに置いていたものの、そうでなかった**サラは全滅した際に貴重なアイテムを奪われていて、何としても取り戻さねばならない。**一行は体勢を立て直して、まずは依頼された荷物の移送から開始することとした。

E倉庫から荷物を積み込み東門へ

一行は、まず最初に移送時のリスクが一番低い城の外壁の外にあるE倉庫からの荷物の移送を行う。E倉庫からの荷物の倉庫からの荷物の積み込みは何の障害もなく済み、一行は城内に入るために、まっとうに管理が行われている北側の城門を避けて東側の城門から回った。**東門はガラの悪いテンピラのような連中が門番をしていたが、事前に盗賊ギルドから買っておいた赤い木札(盗賊ギルドの運び屋であることを示しているようだ)を見せることで、無事に街に入ることができた。**

東門からD倉庫へ

東門を通過した一行は治安の悪い地区にあるD倉庫に移動する。D倉庫の周囲は閑散としていたまに盗賊ギルドの見張りが通る程度。白昼堂々と30分かけて鍵開けをするリスクを冒すわけにもいかず、人通りが少なく詠唱を聞かれるリスクの方が小さいと判断した一行。アリーヤが施錠された倉庫をアンロックする。荷物の運び出しはさほどの問題もなく進み、一行はさらに荷物を積み込むために次のC倉庫へと移動する。

D倉庫からC倉庫へ

C倉庫の周囲は交易所で昼間は目が多い。最初にこの倉庫に来たときに、一行で最も鍵開けが得意なサラが一度鍵開けに失敗している。この倉庫からの荷物の運び出しが最も困難が予想されていた。交易所のすぐ近くに荷馬車を停めることで周囲の大輦を買いつつ、うっかり鍵を忘れてきた商人のような小芝居をしながら、ヘラが3秒でピッキングをする妙技を成功させて、奇跡的に鍵を開くことができた。すかさず荷物の積み込みをする一行だった。サラとクフィルは馬車の運転ができないため、使えるに馬車は三台。そのため、三つの倉庫から集めた物資で荷馬車のキャパシティをオーバーしてしまったために、**一行は一度体育館に移動して、荷物の運び込みをすることにした、**

体育館からA倉庫へ

体育館で物資の搬入を大した障害もなく済ませた一行は、当初積み込みが簡単だと思われていたA倉庫に向かった。しかし、**倉庫街は仲間二人を殺された**と殺気立っている傭兵たちが血眼になって犯人を捜している様子だった。怪しい女がいたら一人残らず捕まえて調べて殺しそうな勢い。**今、A倉庫に行ったら、誤魔化す自信もなく、傭兵たちと戦闘をした場合の勝算も立たない。**仕方なく一行は、A倉庫での積み込みを諦めてB倉庫に向かった。

B倉庫にて

B倉庫での荷物を積み込みをしようとしている一行は、神殿の方から聞こえてくる声を耳にする。**神殿でも、昨夜の倉庫街での殺人を重く見て、犯人探しのために動員をかけているところだった。**街中で魔法を使ったらまず神殿の聖騎士に捕縛される事態となりますます窮する一行。この倉庫は下見の時点でサラが既に鍵開けを成功させていたため、周囲の聖騎士に訝れながらも馬車をブラインド代わりにしてサラが開錠を行った。なんとか荷物の積み込みを済ませて一行は体育館へと移動する。

体育館での職務質問

B倉庫から搬出した物資を体育館に搬入しようとした一行は、聖騎士ゼニールに職務質問を受けた。あらかじめ盗賊ギルドから買っておいた商人の名義を使って、なんとか聖騎士をごまかすことができた。荷物の搬入を終えた一行は、残るA倉庫からの荷物の搬入をどうすればいいかと途方に暮れた。

再びA倉庫へ

A倉庫の周囲の状況を確認するために近くまで接近した一行だが、**思わぬ失敗をしかして大勢の殺気立った傭兵たちに取り囲まれることになった。**傭兵たちによると、**この時間帯(昼間の2~3時)は、船具の類が収まっているこの倉庫街に連中はまずいないはずで、いたら不審者だということになる**ようだ。絶体絶命のピンチに陥る一行だったが、運よく巡回していた聖騎士ゼニールが来たおかげで傭兵たちは散って行った。しかし、ゼニールに問い詰められたヘラは何とか誤魔化すことに成功。その場を切り抜けることができた。

ホオヅキへは戻れない

一行は、最初に馬車が停めてあった場所に戻り、これまでに使った馬車と予備の馬車を交換した。そして、全滅時に奪われた装備がどこにあるか魔法で探査するための安全な場所を確保するためにホオヅキへ戻ることにした。しかし、**港では聖騎士が、殺人事件の犯人がホオヅキに逃げ込んだという情報があるとアルテミスと押し問答中。とてもホオヅキに戻ることはできそうになかった。**薬で性転換して男になってA倉庫が傭兵たちの追及を逃れようとしたミカゲの思惑はついた。仕方なく、一行は唯一安全だと思われた体育館で、奪われた装備をサーチフェイバリットで探索した。装備は侵入した娼館にあることが分かった。しかし、**迂闊な術の行使はカウンターサーチに引っかかり、とうとう体育館まで安全とは言えなくなった。**
教訓: 達成値に重要性がある魔法は、絶対に固定値を宣言すること！しないと達成値が平目扱いにされる！

八方塞がりでの偵察

一行は、装備を回収しようとやむなく侵入に失敗したローラの娼館に再び向かう。物陰から偵察すると娼館は金属鎧の正体不明の兵士たちがたむろしていて近づけそうにない。なんとか娼館内に侵入しようと方法を考える一行だったが、ほとんど手がない。ミカゲが八百万の神々の神託を仰ぐと、**娼館に入ったら確実に全滅する**との結果を得た。どうやらほかにするべきことがあるようだ。
悪手に次ぐ悪手の連続で窮してしまった一行は事態の打開策を探った。

盗賊ギルドに助けを求める

ヘラとミカゲは盗賊ギルドに行き、ガガーランの屋敷でヘラが盗み聞きした情報をリークした。盗賊ギルドの態度が変わり、事態が動き始める。**盗賊ギルドにA倉庫の周囲にいる傭兵たちを何とかしてほしいと頼むミカゲだったが、傭兵たちは2時間ほどでいなくなると盗賊ギルドに予告される。**しかし、一行はまだ自分たちが投じた一石の意味が全く理解できていなかった。

時間を持て余す

情報不足により大した動きをすることもできず、A倉庫の周囲から傭兵が消えるという2時間を体育館で過ごす一行。近くの神殿の方から何か聞こえてこないかと耳を澄ますが、神殿は静まり返っていた。

A倉庫からの物資に搬出

盗賊ギルドの予言に従って倉庫街に向かった一行。

確かに傭兵たちは姿を消していたため、粛々と荷物の搬出を行って、体育館に荷物の搬入をすることができた。

こうしてグロフィスからの依頼は果たすことができた。

あとは装備の奪還が残るのみ。ミカゲは娼館とガラーン屋敷の方を探ろうと偵察行動を行う。

娼館の方は不気味に静まりかえり、全身鎧の兵たちも消えていた。しかし、大した情報は得られない。

ガラーン屋敷の方は傭兵たちが集結していた。兵士たちは統率も取れて臨戦態勢にあった。

ついでに神殿も覗くが、こちらもしっかり動きが見えなかった。仕方なく体育館に戻ったミカゲだった。

情報収集不足のツケ

王都を巻き込んだ騒動の中心にいながらまったく事態を把握できていなかった一行。

売族ギルドに行き恥を忍んで、事態の全ての説明を求めざるを得なかった。

盗賊ギルドに呆れられるミカゲたち。こうして盗賊ギルドから事件のあらましが語られた。

- ・ガラーンが王都に対してクーデターを起こすことを前提に話を進めていた陰謀が話の発端
- ・ガラーンは私兵を集め、また城内の兵士を買収して本来余らないはずの武器を巧妙に余らせて、武装蜂起に使うための武器を貯蓄していた
- ・傭兵も腕利きが集められたが、それ以上に今回城を攻め落とす最重要戦力として、外国から特選の戦力を招聘した。
- ・その戦力こそがローラの娼館に匿われてた連中(ゴブリン帝国の兵团)だった。
- ・集められた武具は、一端王都内の五カ所の倉庫に分散して保管され、武装蜂起の日に城門前の体育館に集めてそこから街に火を放つ計画だった。
- ・当初、盗賊ギルドは内政に干渉するつもりはなく、このクーデターを静観する予定だった。
- ・人間が人間の傭兵を招いて王城を攻め落とすならただの謀反、革命であり政治騒動で話がつくが、ゴブリン、要するに魔物を街に引き入れて街を襲わせるなら話が別。
- ・魔物を待ちに引き入れたことを「盗賊ギルドが容認し、看過した」となれば、神殿の聖騎士団が介入してくるためこの街の中のパワーバランスが崩れる。
- ・神殿側のスタンスも盗賊ギルドとほぼ同じ。人間同士の政争であれば静観するが、魔物を街に入れるとなると話が違い、「平和を害する巨悪との闘い」に発展する。
- ・魔物を街に入れるのは双子神殿の教えにも反することは間違いない。
- ・このとき盗賊ギルドがガラーンに協力していたとみられると、聖騎士団たちに「巨悪の一部として」討伐される恐れがある。
- ・盗賊ギルドは魔物が侵入していることを神殿にリークして、盗賊ギルドは魔物を入れることには関わりないというスタンスを明確にした。
- ・また、盗賊ギルドを欺いたことになるガラーンに対しても、王城にクーデターを企てていることを通報して落とし前をつけた。
- ・王城は外からは静まって見えるが兵士たちが集結しガラーンの屋敷を攻める準備をしているはず。
- ・ガラーン屋敷周辺に傭兵が集まっているのは王城からの攻勢に備えてのことだった。
- ・明け方には聖騎士たちがローラの娼館を攻めるはず。明け方になるのは、夜行性のゴブリンたちが眠る時間だから。
- ・男に騙されて盗賊ギルドを欺いていたローラも襲撃で終わるだろう。
- ・ガラーンは国外逃亡を図るだろうが、まず失敗してどこかで命を落とすだろう。
- ・神殿の聖騎士が娼館を攻めるのは午前4時くらいと予想される。それまでは娼館の周囲も堅く守られているだろう。装備を取り返すならどさくさに紛れる必要がある。

こうして今起こっている事態を把握した一行だったが、この期に及んでも情報を活用することができず、体育館で集めた荷物を護ることしかできなかった。

荷物の引き渡し

体育館で荷物を護っていた一行だったが、荷物の搬入期限まで待っていると、**体育館に褐色肌の男と荷馬車の一団が現れた。**
グロフィスからの依頼には荷物の受け渡しは含まれていない。
しかし、この男に荷物を渡しても良いか判断をつけることができない一行。
褐色肌の男が嘘をついているかどうか判断できる者が一人もいなかったのだ。
またも弱する一行だったが、**迷った末に褐色肌の男が荷物を搬出するのを止めないことにした。**去っていく褐色肌の男たち。

困惑の一行、選択の失敗

娼館からの装備品の回収はできていないが褐色肌の男の動向も気になる。
装備品の回収に固執する一行からヘラは単身で離れて褐色肌の男たちを追うことにした。

後の祭り

ヘラを除く一行は装備品を回収するために娼館に向かったが、そこは既に聖騎士団に制圧された後だった。
仕方なく聖騎士たちの話を盗み聞きする一行。
ローラは捕縛され、ゴブリンたちは多少の後詰を残して大半が撤退した後だった。
聖騎士団の捜索では遺留品は発見されなかったという。
街の西の方を見ればガガーランの屋敷のあたりで火の手が上がっているのだろう。空が明らんでいた。

孤独な戦い

ヘラは単身で褐色肌の男の一団を追った。
途中でヘラの追跡に気づいたのか、褐色肌の男が荷馬車から離れた。
褐色肌の男を追ったヘラだったが、それはヘラをおびき寄せる罠だった。
4人の敵と遭遇したヘラ。
ゴブリンたちは盗賊ギルドに独自に依頼をして安全な逃走ルートを確認したつもりだったらしい。
ゴブリンプリンスと3名のゴブリンジェネラルに単身戦いを挑むヘラだったが、敵うはずもなく命を落としてしまった。

失敗した冒険の結末

ヘラを除く一行は港の端で武装蜂起したゴブリンの一行が聖騎士団に鎮圧されたという話を耳にする。
そして、馬車の隅から失っていた装備品を回収することができた。

無策な一行の冒険はこうして失敗してしまった。

また、sh情感での戦闘で超英雄ポイントを使用したため、全員の経験値が減算されることとなった。

教訓:GS以外で超英雄ポイントを使用すると【全員の】経験値が減算される。

人名リスト

ガガーラン卿	外れの大きな屋敷に住んでいる。 金持ち商人で食い詰めた貴族から爵位を金で買った。 出兵準備のため糧食などの用意を筆頭になって行っている。 悪役顔でそのうち何かやらかしそう。 酒場の店主によると、娼館には出向かず気に入った女を囲い込むだろうとのこと。 王国でクーデターを画策したが、盗賊ギルドに尻尾を掴まれたことで破滅した。死亡。
クラッド商会のアイギナ	荷物輸送のために借りた名義。 首が回らなくなって破産した商人の名義だったようだ。
グロフィス	直接の依頼人。 真意は全く分からない。PTが依頼を受けた時にはまだホオツキにいた。
ローラ	3軒ある高級娼館のうちの一つのオーナー。 腕一つで成り上がった花街の重鎮。 酒場の店主の表情を見る限りでは人格に問題があるらしい。 娼館に怪しげな誰かを置いているようだ。(ゴブリンはゴブリンだが少し様子が違った) 商人の噂によると、一度男に入れ込むと周りが見えなくなるらしい。 結局、男にだまされた挙句に破滅して聖騎士団に捕縛された。おそらく死亡。
褐色肌の男	二日目の朝にホオツキを観察していたが追跡しようとしたら撒かれた。 二日目の夜にはPTが夕食を摂っているところにいた。多分この人に監視されてる。 PTを見張っていた男かどうかの確証はないが、ガガーランとの会話を聞かれている。 その会話によるとゴブリン帝国の派遣されてきた隊の代表のような立場のようだ。 全面的にガガーランを支援しているようであり、ホオツキの方にも手加減をしている。 最終日にはPTが集めた荷物を受け取りに来て、追跡してきたヘラを罠にはめた。

ゼニール

神殿の聖騎士。40歳ほどのおじさん。
一行に対し不審を抱き、職務質問をかけた。
倉庫街ではパトロール中に一行を助けたり、娼館鎮圧にも顔を出していた。